

コンテナラウンドユース事業を促進するため、ITを活用した車両入退場管理システム、防犯カメラ、夜間照明などを導入し、24時間体制のインランドデポを構築



吉田運送 株式会社

平成
27年度

事業計画名 ITを活用した24時間利用可能な内陸コンテナターミナル建設事業

取り組みの経緯



地域の革新的・創造的な事業プランを選出する「第1回めぶきビジネスアワード」の地域創生賞を受賞した

同社は1973（昭和48）年、野菜や原乳の配送会社として創業。国際コンテナ輸送や物流、香港に本社があるOOCLと約11年前、海外からの輸送コンテナを一時保管するインランドデポ（内陸保税拠点）として、坂東市の同社コンテナターミナルを使用する契約を結び、コンテナラウンドユース（CRU）事業に参入した。CRUとは、輸入で使った空のコンテナを港に回送せず、インランドデポに一時保管して輸出向けに転用する仕組みで、国際海上コンテナ輸送の効率的な手法として一躍脚光を浴びている。

CRUの最大のメリットは、往路または復路のいずれかで発生する空コンテナの輸送を削減できる点。港を出入りするトラックの渋滞緩和、社会問題となっているドライバー不足の解消、国際海上コンテナ輸送全体としての輸送距離の短縮、二酸化炭素排出量の削減など、さまざまな効果が期待されている。今回、輸出入業者や運送会社ともに利点の多い

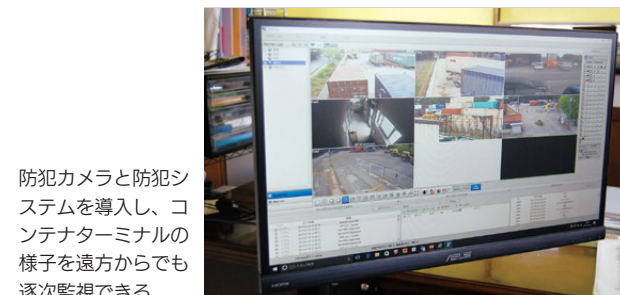
CRUをさらに促進するため、ITを活用して24時間利用可能なインランドデポを目指すことにした。

事業の具体的内容及び効果

24時間体制で輸送事業者がいつでも支障なく同社「坂東インランドデポ」に出入りできるよう、ITを活用した車両入退場管理システムを導入した。ゲートに警備員を配置せず、事前に発行したパスワードによって車両及びコンテナの入退場を確認し、省力化と手続きの簡素化を図った。インランドデポの防犯を強化するため、夜間照明を敷地各所に設置し、防犯カメラと監視システムも導入。遠方からパソコンの画面上でインランドデポ内の様



ITを活用した車両入退場管理システムを導入し、コンテナ輸送を管理している。24時間利用できるよう夜間照明も設置



防犯カメラと防犯システムを導入し、コンテナターミナルの様子を遠方からでも逐次監視できる

吉田 孝美さん 吉田運送 株式会社 代表取締役

ドライバー不足が深刻な運送業界において、効率的な業務を考えることが大切だと考え、運送の効率化、渋滞の緩和、環境保護に貢献できるラウンドユース事業に着手した。圏央道が開通し、国道4号、6号、294号が近くを通っている坂東市は物流の拠点になると考えている。



事業概要

同社のコンテナラウンドユース事業に、ITを活用した車両入退場管理システム、防犯カメラ、施設内の夜間照明を導入し、輸送事業者にとって利便性の高い24時間利用可能な内陸コンテナターミナルの整備を目指した。



コンテナの積み降ろしや移動運搬を行う大型荷役機械「リーチスタッカー」

子を逐次監視できる体制を構築した。同社は11の船会社、30～40の輸送事業者とそれぞれ契約し、用途や容量を加味して月250本超のコンテナを輸入、輸出と組み合わせるマッチングを行っている。今回の事業で企業価値が高まり、大手船会社を含む、11社（OOCL／“K”LINE／MOL／WANHAI／EVERGREEN／MAERSK／MSC／COSCO／SITC／HASC0／HAPAQ LLOYD）と新規契約の成約にこぎつけた。

事業成果の活用・今後の取り組み

運送業界では、コスト削減や長距離運転などのハードな業務が敬遠され、ドライバー不足が深刻化している。吉田孝美代表取締役は物流が滞ることに危機感を抱き、CRU事業に参入したという。内陸部に位置する同社インランドデポを中継することで港湾までの長距離運転と荷主までの短距離運転を分

担することで、体力に不安のある女性やベテランのドライバーが業務に従事しやすい労働環境を整備し、業務の効率化によって運送業界の安定につながると考えたという。実際、同社では現在2人の女性ドライバーが活躍している。

今年11月、これまで蓄積したノウハウと提案力が評価され、同社が指定管理者を務める「佐野インランドポート」が栃木県佐野市に完成する予定。坂東インランドデポと同様に24時間体制でコンテナの管理を行い、栃木県での新しい物流スタイルを発信していくという。



同社が指定管理者を務める「佐野インランドポート」の完成予想図

吉田運送 株式会社



〒306-0651 坂東市半谷3-198-17
TEL.0297-34-2221
FAX.0297-34-2491
http://www.yoshiun.com
資本金：1,000万円
従業員：40名

11の船会社、30～40の運送会社と提携し、コンテナラウンドユースを取り入れた効率的な運送に取り組んでいる。